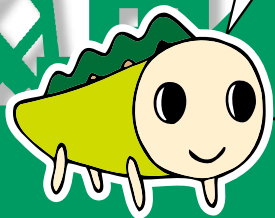


杉並の子どもいのちを
大地震から守るための

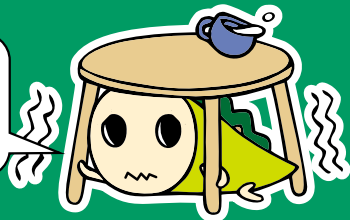
防災マニュアル ミニブック

いつも携帯するように
してください。



もしもの時にそなえて、
家族でミニブックを読んで
話し合ってください。

大きな地震が起きたら、
このミニブックを開いて
確認してください。



地震が起きた時の対応の仕方

●家にいる時

緊急地震速報がなった時も、同じような行動をとるようにしてください。

- ・テーブルの下にもぐる。
- ・戸やドアを開ける。
- ・たんすや本だななどから離れる。



●屋外にいる時

- ・カバンなどの持ち物で頭を守る。
- ・車の前にとび出さないように気を付ける。
- ・建物や塀、自動販売機から離れる。



●もしもの時に備えて、 家族で話し合いをしてください。

? 家族の緊急連絡方法はありますか。

(例)『災害用伝言ダイヤル』を使って連絡をとる。

? お子さんは、登下校の途中で地震が起きたら
どうしますか。

(例)学校もしくは家の近いほうへ戻る。
親戚などの家へ行く。

家族が集まる避難場所、広域避難場所について話し合しましょう。

家族が集まる避難場所

家族が集まる広域避難場所

- ・家が無事な時は、避難する必要はありません。
- ・家が危険な時は、区立小中学校の震災救援所へ避難します。
- ・大火災が発生し、自宅や学校が危険な時、**広域避難場所**へ避難します。



番号	広域避難場所
1	井草八幡宮一帯
2	井草森公園一帯
3	柏の宮公園一帯
4	上井草スポーツセンター一帯
5	高井戸公園一帯
6	コーシャハイム中野弥生町・立正佼成会大聖堂一帯
7	蚕糸の森公園一帯
8	シャレル林一帯
9	セシオン杉並・妙法寺一帯
10	善福寺川緑地・和田堀公園（西地区）一帯
11	善福寺公園・東京女子大学一帯
12	高井戸駅一帯
13	明大和泉校舎一帯
14	桃井原っぱ公園一帯

番号	広域避難場所
15	和田堀公園（東地区）一帯
16	芦花公園・明大八幡山グラウンド一帯
17	中野区役所一帯
18	白鷺一丁目地区
19	公社鷺宮西住宅一帯
20	日本郵政・高井戸東小学校一帯

震度5弱以上の地震が発生したら

学校(園)や保護者、お子さんの対応や動きについて確認しておきましょう。

登校(園)日の午前6時前までに、震度5弱以上の地震が

発生した際には、学校(園)は臨時休業になります。

お子さんが学校(園)にいる時

地震発生

対策本部の設置

被害状況の把握

学校(園)から保護者への連絡

「学校緊急連絡メール」等の活用

引き渡しの実施

学校(園)での保護の継続

・区内のいずれかで震度5弱以上の地震が観測された時は、保護者等への「引き渡し」になります。

・5強以上の地震が観測された時は、学校に震災救援所が開設されます。

・保護者の方と連絡がとれるまで学校(園)で預かります。

* 待機している子どもたちの食事は、区担当職員や教職員が、災害備蓄倉庫から搬出、調理を行い配給します。

保護者

お子さんが登下校をしている時

地震発生

情報を入手。「学校緊急連絡メール」等の活用

引き取りに学校(園)へ

保護者が幼児・児童・生徒と一緒に帰宅する

- 大きな壁などから離れる。
- 近くの大人に助けを求める。
- 近くの公園、空き地等の安全な場所に避難する。

- 学校(園)が自宅の近い方へ避難する。
※自宅に保護者がいない場合は、学校(園)に避難する。

学校(園)

校(園)庭などの安全な場所に避難する。

自宅

帰宅した場合はできるだけ早く学校(園)へ連絡する。

* 待機中のお子さんの状況については、安全確保を行った後に「学校緊急連絡メール」等を活用して、登録された保護者へ定期的に報告します。

学校(園)名

電話番号

FAX番号

氏 名

学校(園)名

電話番号

FAX番号

氏 名

災害用伝言ダイヤルについて

「171」をダイヤルし、音声ガイダンスにしたがって伝言の録音、再生を行ってください。

【操作の主な流れ】

- ① 「171」をダイヤルする
- ② 録音または再生を選ぶ
- ③ 自宅の電話番号を入れる
(自分が大きな地震にあったとき)
- ④ メッセージの録音、再生